

エドヒガン植栽地の下草刈り等を実施しました！！ ～箕面自然休養林管理運営協議会～

平成30年10月20日（土）、箕面国有林の「体験学習の森」で明治の森箕面自然休養林管理運営協議会による「エドヒガン」と「ヤマザクラ」の植栽地の下草刈りと、シカによる樹皮剥ぎを防止するための樹木保護ネットの設置が行われました。ボランティアで作業をしていただいたのは、同協議会の活動に協賛されているアサヒビール（株）の社員とそのご家族13名、指導等を担当したのはNPO法人みのお山麓保全委員会（協議会事務局）1名、NPO法人日本ボランティア協会2名、大阪府北部農と緑の総合事務所2名と当センター職員4名の合計22名が参加しました。下草刈りでは、下草が繁茂し鬱蒼とした状態の中、足元の安定や隣との間隔を気にしながらの刈り払いや巻き付いたツルを慎重に取り除いていただき、見違えるほどきれいになりました。

この「エドヒガン」と「ヤマザクラ」は、平成26年11月8日に同社の社員たちがボランティアで植栽されたもので、「体験学習の森」が所在する北摂地域（大阪府北部地域）の里山景観を彩る代表的な樹種です。あと数年もすればきれいな花を咲かせてくれるでしょう。

保護ネットの設置では、増えすぎたシカによる被害の説明と



ネット設置の実演の後、家族単位で2班に分かれて保護ネットを設置していきました。小学生の女の子もお父さんとお母さんを真剣に手伝い、家族の阿吽の呼吸で多くの樹木に保護ネットを設置していただきました。

午後は秋の穏やかな日差しを受けながら、参加者全員で「水源の森」のジオラマづくりに挑戦していただきました。前段で「水を育む森林のはなし」などをして、森林への理解を深めていただいた後、大人も子どもも自分の想像している「水源の森」をイメージしながら真剣に取り組み、できあがった作品に満足されたのか大切そうに持ち帰っていただきました。



飛鳥里山クラブの視察研修を受入れました！！

平成30年10月24日（水）、奈良県明日香村の飛鳥里山クラブの視察研修を受入れました。飛鳥里山クラブは「国営飛鳥歴史公園」のボランティアで、公園の甘檜丘地区等あまかしのおかを主な活動拠点として、里山景観保全や花による見どころづくりなどに取り組まれており、当センターが実施している森林環境教育プログラム「森の探検隊」などの取り組みを今後の活動の参考にと39名が参加されました。

研修では、最初に箕面国有林の概要説明や「エキスポの森」内の箕面体験学習の森での「森の探検隊」などの取組事例を紹介した後、3班に分かれて実際の探検ポイントを案内し、ポイントごとのクイズ設定の意図やそのクイズが小学校の何の科目に対応しているかなどを説明して回りました。

参加者からは、歴史公園とフィールドの違いはあるものの、これからの里山づくりに参考になることが多くあり勉強になった。」などの感想をいただきました。

午後は、箕面ビジターセンターでNPO法人みのお山麓保全委員会から、明治の森箕面国定公園の概要や生息する動物などの紹介の後、2班に分かれて自然解説員から展示室内の紹介を受けながら豊富な展示物を楽しく見学され、帰路につかれました。

